

関係者各位

ものづくり情報連携プラットフォーム（PSLX3） 参加のご案内

NPO法人ものづくりAPS推進機構
理事長 黒岩 恵

製造業をとりまく環境が目まぐるしく変化している中で、ものづくりに関する技術や手法がICTによってネットワーク化、オープン化されはじめています。こうした流れを受けて、製造装置のメーカーや製造に関するソリューションベンダーは、これまでの技術ノウハウをブラックボックス化しつつも、一方でオープン化を進め、いかに外部とつながりやすいかを訴求していかねばなりません。

NPO法人ものづくりAPS推進機構（APSOM）は、その前身であるPSLXコンソーシアムの時代より、生産計画、生産スケジューラーを中核とした情報連携のための業務の標準化、データの標準化を進め、これまでいくつもの標準仕様書、ホワイトペーパー、雑誌や新聞記事等でその内容の普及を行ってまいりました。そして、この度、その対象を、中堅、中小製造業の全業務に広げ、企業内、企業間の連携もスコープに加えたプラットフォームの開発に着手しました。

このプラットフォーム（PSLX3プラットフォーム）を活用することで、工場の生産現場と企業内の他の部門、そして取引先や物流、小売、そして最終的な消費者まで、一気通貫で情報が連携するようになります。特に、中堅、中小製造業が、さまざまな環境変化に対応すべく工場あるいは生産システムを構築する際に、情報システムをスケーラブルでかつ進化可能な形でデザインし、それをより低コストで実装することが可能となります。

APSOM会員企業、および関連する企業におかれましては、PSLX3連携フォーラム（仮称）にご参加いただき、ぜひPSLX3プラットフォーム上でのシステムの実装、あるいはソリューションの推進についてご検討いただきたくご案内申し上げます。まずは、以下の第一期のアクションスケジュールに示すとおり、今年11月12日～14日にビックサイトにて開催される生産システム見える化展にて、連携デモを実施し、多くの中堅、中小製造業のユーザー企業に向けてプラットフォームの効果を訴求する予定であります。

PSLX3連携フォーラムの参加企業へは、製造情報連携ガイド、PSLX3仕様書、PSLX3実装手引きに加え、連携デモに参加いただく際に必要な実装用スキーマ、開発環境（ソフトウェア）等が提供されます。これらは、その後、参加企業それぞれの商品開発やサービス提供のツールとして継続的に利用可能です。標準仕様およびソフトウェアは、その後も継続的にメンテナンスし、我が国のものづくりに関するイノベーション政策とも協調しながら、実質的なデファクトスタンダードとする予定です。

未来のものづくりを支える多くの企業のご参加をお待ちしております。

2014年4月吉日
PSLX3プラットフォーム
プロジェクトリーダー 西岡 靖之

説明会およびキックオフ会議

日時：2014年5月22日（木）14:00～17:00（懇親会：17:30～）

場所：製造科学技術センター会議室

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-17-1 虎の門5森ビル5階

内容：

- (1) プロジェクト概要と進め方
- (2) P S L X 3仕様と連携方法の説明
- (3) プログラム実装、商品化、ビジネス連携の方針

今後のアクションスケジュール

4月 企画立案、運営委員会承認（4月9日）、案内開始

5月 キックオフ、仕様書公開&レビュー（5月22日）

7月 仕様書F I X&パブリックレビュー、実装環境の提供

9月 連携デモ接続テスト（1日程度）

10月 連携デモ用シナリオ打合せ

11月 見える化展での展示、連携デモの実施（10月12日～14日）

12月 連携フォーラムの拡大（APSサミットにて）第2期メンバー合流

参加費

◆APSOM会員：無料、◆非会員：10万円

ただし、連携デモに参加の場合は以下のいずれかの出展費用が別途必要となります。

◆パネル展示の場合：約10万円、◆ブース展示の場合：約35万円（詳細は日本能率協会からご案内）

お申し込み方法

以下の申込み用紙に必要事項をご記入の上、FAX、郵送、または説明会（キックオフ会議）参加時にご持参ください。

お問い合わせ先

一般社団法人 製造科学技術センター内

特定非営利活動法人 ものづくりAPS推進機構

事務局 山本明人 admin-office@apsom.org

TEL： 03-3500-4891、FAX： 03-3500-4895

